

整理番号 2021P-257
補助事業名 2021年度 福祉車両の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人楽笑

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

新型コロナウイルス感染拡大による新しい生活様式に即したサービスを提供する為の車両整備を行います。施設内は換気・座席のレイアウト・活動内容など感染対策を講じることが出来ますが、送迎車両は、車両の台数に限りがあったり車内が密になりやすい環境だったりするため、感染リスクが高い状況にあります。そのため、8名定員の車両整備を行い、乗車定員の半数の4名までの乗車とします。そうすることで3密を回避し、感染予防を徹底します。

また、感染症拡大による急な休校やイレギュラーな登校状況（分散登校・時短授業など）が学校ごとで異なり、休校の日や授業が早く終わった日も変わらず送迎を使って福祉サービスを使いたい利用者・保護者の方のニーズが強くあります。学校の対応が都度変わっても柔軟に送迎対応ができ、利用者の生活リズムを乱すことなく安心安全にサービスを使い続けることができます。また、福祉サービスを使い続けられることで、保護者が仕事を休んだり早上がりをしてしたりすることなく、保護者の負担軽減や就業保障にも繋がります。

(2) 実施内容

移送車1 [助手席リフトアップ] ノア <http://www.rakusho.or.jp/>

少人数の乗車を行うことで、車内の密空間を回避して新型コロナウイルスの感染リスクを軽減することができました。また、感染症拡大による休校や分散登校などによって複雑な福祉サービス利用時間になっても、送迎車両が整ったことで柔軟に受け入れを整えることができています。

さらに、助手席リフトがあることにより、身体障害で車の乗り降りにサポートが必要な方に対してリフトを使って介助ができるため、身体介助による介護事故のリスク軽減にも繋がります。



車両の外観



助手席リフト使用の様子



実際に使用している様子

2 予想される事業実施効果

新型コロナウイルスの感染状況により、学校の対応が急に変わることが今後も多くあることが想定されます。様々な事態に対応できることで、イレギュラーなことが起きても柔軟に送迎の対応・利用の受け入れ体制を整え、利用者が事業所を使い続けることができ、生活リズムの安定と保護者の就業保障につながることを今後期待される効果です。

また、少人数の乗車を行って送迎時間を短縮しミーティングの時間を確保できることで、職員同士で共有したいこと・相談したいこと・支援に関する議論や準備ができて事業所の支援の質の向上につながっていくことも今後の効果になると考えています。さらに、送迎時間の短縮により、勤務時間の調整がしやすくなることと、長時間の運転による職員の疲れ・事故のリスク軽減も今後期待されます。

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

社会福祉法人楽笑facebook (<https://www.facebook.com/fukushi.rakusho>)



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 楽笑（シャカイフクシホウジン ラクショウ）

住 所： 〒443-0021

愛知県蒲郡市三谷町須田10番地68

代 表 者： 理事長 小田泰久（オダヤスヒサ）

担 当 部 署： 生活支援部（セイカツシエンブ）

担 当 者 名： 児童発達支援管理責任者 仲川舞（ナカガワマイ）

電 話 番 号： 0533-66-6228

F A X： 0533-66-6229

E - m a i l： info@rakusho.info

U R L： <http://www.rakusho.or.jp/>